

平成30年度 指定管理者施設管理評価シート

		部課名	福祉部高齢福祉課	
施設名称	20 東京都台東区立やなか高齢者在宅サービスセンター	指定管理者	社会福祉法人台東区社会福祉事業団	
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 継続特例 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募	指定期間	H27. 4. 1	～ H32. 3. 31

1. 施設および事業の概要

(1)	[設置目的] 要支援、要介護高齢者のデイサービスの場として、その心身の健康保持及び生活の安定のための各種の介護サービスを提供する。
(2)	[所在地] 台東区谷中2-17-20 [規模] 延べ床面積 2,794.36㎡の内380.28㎡ 鉄筋コンクリート造地上3階地下1階のうち1階の一部
(3)	[委託事業] ①通所介護（送迎・入浴・食事・機能訓練・日常生活上のケア・健康チェック・生活相談等）、②介護予防通所介護（送迎・入浴・食事・日常生活上のケア・健康チェック・生活相談等）（定員35名） [自主事業] 自主事業は行っていない
(4)	[利用者] 要支援・要介護と認定された高齢者 [利用料金制] <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> その他（ ）
(5)	[開館日・時間] 月曜日から土曜日（年始1月1日～2日を除く）8時30分～17時15分
(6)	[人員体制] 22名 （内 訳）施設長(1)、生活相談員(3(兼))、機能訓練指導員(5)、看護師(短1、アルバイト1)、事務職員(1)、ケアワーカー(常2(兼)、短4、アルバイト6) （前年増減）±0

2. 予算決算		28予算	28決算	29予算	29決算
収入	委託料（指定管理料）	0	0	19,531,000	19,531,000
	利用料金収入	0	0	65,120,000	62,886,765
	その他収入（市町村特別事業収入）	0	0	10,179,000	720,000
	計	0	0	94,830,000	83,137,765
支出	人件費	0	0	59,768,000	57,482,857
	光熱水費	0	0	5,714,000	2,788,504
	維持管理費（委託料・賃借料）	0	0	19,026,000	19,221,090
	修繕費	0	0	440,000	92,399
	事業費	0	0	0	0
	その他支出（ファイナンス・リース債務の返済支出）	0	0	9,882,000	8,609,942
	計	0	0	94,830,000	88,194,792
収支			0		-5,057,027

3. 活動指標	単位	(目標値)31年度	27年度	28年度	29年度
開館日数	日	310	312	休止	311
定員	人	35	35	休止	35

4. 成果指標	単位	(目標値)31年度	27年度	28年度	29年度
利用率	%		67.0	休止	68.0
利用者数	人		7,319	休止	7,402

5. 前回評価の結果に対する、現在までの取り組み状況

運営再開に伴い新規利用者の獲得に努めた結果、目標には届かなかったものの利用率は改修工事前年度と同水準まで回復した。また、利用者のニーズを踏まえ可能な限り個別送迎を行うなど、サービスの向上に努めている。

6. 評価の観点 (20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った	
(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、職員配置、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	必要な事項について適宜区との情報共有がされており、事業計画書や各種報告書等の作成・提出も適切に行っている。また、災害応援協定を近隣3町会と締結しており、地域と連携して防災対策を行っている。一般的に適切な施設運営が行われている。
(2) 事業の運営	職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
19 / 20 点	運営再開に伴い新規利用者の獲得に努めた結果、目標には届かなかったものの利用率は改修工事前年度と同水準まで回復した。また、ボランティアの協力による余暇活動の充実を図るなど、全体的に良好な事業運営を行った。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	日常巡回を行い、破損している機器や備品には適宜修繕を行うなど、施設の適切な維持管理に取り組んでいる。また、感染症等発生時における保健所や関係機関への連絡体制を整備するなど、適切な維持管理を行っている。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
18 / 20 点	利用者のニーズを踏まえ可能な限り個別送迎を行うなど、サービスの向上に努めている。また、利用者満足度調査の結果も、全体の9割以上の方がセンターでの1日に満足していると回答するなど概ね良好であった
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
16 / 20 点	利用料金収入が当初の目標を達成できず、収支はマイナスとなった。全体として適切な予算管理がなされているが、より一層利用率及び利用料金収入の向上に取り組むことが望まれる。
(6) 優れた取組み ◀加点項目▶ ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取り組みによる成果
点	

7. 総合評価 極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)	
良好 (93 / 110点)	<p>【所見】</p> <p>利用者のニーズを踏まえ可能な限り個別送迎を行うなどサービスの向上に努めた。引き続き利用率の向上・サービスの向上に努める必要があるが、施設管理は適切に行われており全体として良好な運営がなされている。</p> <p>【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】</p> <p>収支改善のために、一般型通所介護の利用率を上げる等、利用料金収入の増加に努める必要がある。また、利用者満足度の更なる向上が求められる。</p>